

- 《履修上の留意事項》1. 疑問点があれば、遠慮なく質問すること（メールも歓迎）。  
2. 机の上には講義と関係のないものは一切おかず、授業に集中すること。

《担当者名》 歯学部教授 / 高橋 伸彦 [ntkhs@hoku-iryo-u.ac.jp]  
歯学部准教授 / 大村 一将 [kohmura@hoku-iryo-u.ac.jp]

#### 【概要】

実診療で遭遇する様々な臨床検査に関する知識の確認を行うと共に、国家試験問題へのアプローチの仕方について習熟する。

#### 【全体目的】

臨床検査医学の学習を通じて歯科衛生士としての診療に必要な医療知識を習得する。

#### 【学修目標】

国試頻出問題を十分に理解し、どのような応用的問題が出されても解答できることを目標とする。  
各種検査法の意義、方法、基準範囲など、授業で取り上げたものについては十分に把握すること。

#### 【学修内容】

回	テーマ	授業内容および学修課題	担当者
1	歯科診療で必須の生体検査について	脈拍・体温・血圧測定などの検査の仕方、結果の解釈について理解する。 呼吸機能検査、パルスオキシメトリについて理解する。 国家試験、模擬試験の既出問題で知識を再確認する。	大村 一将
2	医療知識として必要な臨床検査について(1)	糖尿病や脂質異常症、メタボリックシンドロームなどの生活習慣病の検査と結果の解釈、感染症や肝臓・腎臓の検査の仕方と結果の解釈を理解する。 国家試験や模擬試験の既出問題を用いて知識を再確認する。	高橋 伸彦
3	医療知識として必要な臨床検査について(2)	臨床検査の基準範囲、表記方法などの基本的な知識を再確認する。 血液検査およびとくに貧血検査の結果の解釈を理解する。 アレルギー・膠原病の検査と結果の解釈を理解する。 国家試験、模擬試験の既出問題で知識を再確認する。	大村 一将

#### 【授業実施形態】

面接授業

授業実施形態は、各学部（研究科）、学校の授業実施方針による

#### 【評価方法】

卒業試験（100％）

#### 【教科書】

最新歯科衛生士教本「臨床検査」 医歯薬出版株式会社

#### 【参考書】

「異常値の出るメカニズム 第7版」 河合忠 監修 医学書院 2018年

#### 【学修の準備】

前年度までの教科書および講義資料を整理し、内容について確認しておく。（60分）  
授業ごとに学習した内容を復習する。（60分）

#### 【実務経験】

高橋 伸彦（医師）、大村 一将（医師）

**【実務経験を活かした教育内容】**

医療機関における内科医としての実務経験を活かし、歯科診療における臨床検査の実践的な利用法について役立つ講義を行う。